

7月6日(火曜日)  
ドル/円

## 米国は今日からスタート

### 5日(月)の主な推移

チャート: 30分足 5日(月)朝7時 ~ 6日(火)朝6時

ダウ平均株価

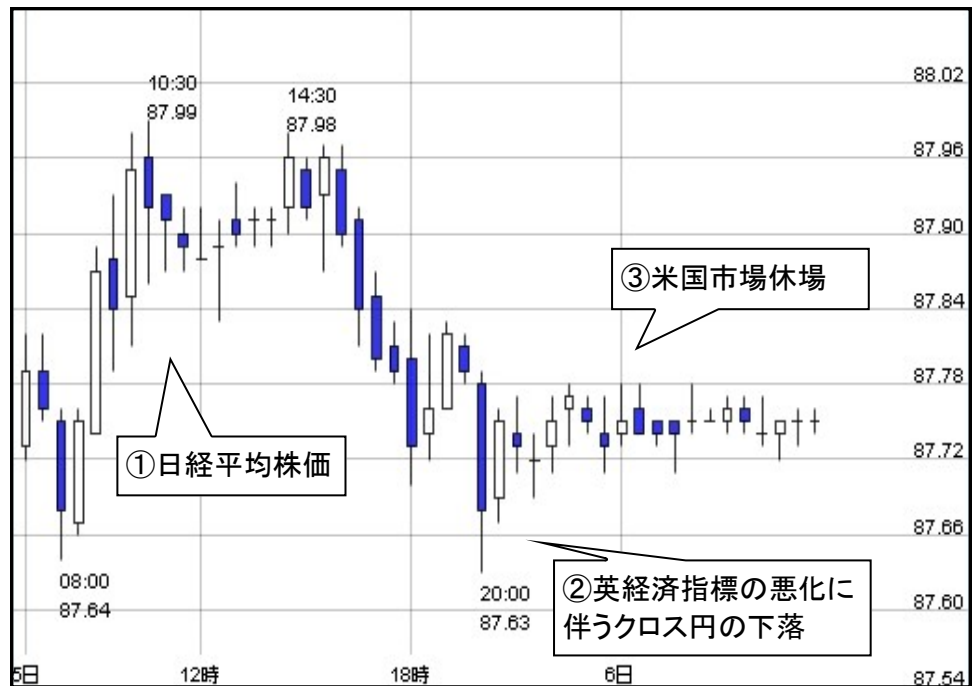
休場

米長期金利  
(10年債利回り)

休場

NY原油先物

休場



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、( )は前日比  
出所: 外為どっとコム

- ① 日経平均株価が高く寄り付き、その後も堅調に推移したことを背景に、ドル/円は87.99円まで上昇した。
- ② 主だった材料の無い中、英6月サービス業PMIが54.4と前月よりも悪化となり、ポンド/円が下げたことを手掛かりにクロス円が買い戻されると、ドル/円も87.63円まで下落した。だがその後は手掛かり材料難の展開から、積極的に下値を試すムードとはならなかった。
- ③ 米国市場が休場につき取引参加者が少ない中、ドル/円は動意の薄い展開となり、NY時間は小幅な値動きに終始した。

### 上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加緩和観測
- ・日本の財政赤字への懸念

### 下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり

### 本日の見通し

本日の予想レンジ: 87.30- 88.50円

昨日は米国市場が休場につき、特にNY市場では動意の薄い展開となり、ドル/円は一日の値幅はわずか36銭であった。米国勢は本日から市場に戻ってくると見られ、ドル/円は昨日とは違う値動きとなることが予想される。

本日のNY市場では、米6月ISM非製造業景況指数の発表が予定されている。市場では現在、米景気見通しに対して悲観的なムードが漂っており、悪材料に反応しやすい地合いであることを考慮すると、市場予想を下回った場合はドル売りの反応が予想される。一方で市場予想を多少上回る程度ではドル買いに傾きにくいと見られ、その場合は欧米株の値動きとセットで市場の動きを捉えるようにしたい。

そのほかアジア時間では、豪準備銀行(RBA)の政策金利発表が控えている。これによってドル/円が直接動くわけではないが、仮に豪ドル/円が大きく上下する場面があれば、ドル/円もその影響を受ける可能性があるため、発表前後の値動きには注意したい。(川畑)

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/6(火)	13:30	○	(豪) RBAキャッシュターゲット	4.50%	4.50%
	23:00	◎	(米) 6月ISM非製造業景況指数	55.4	55.0

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com